

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95 (03)6718-1251
JR東海品川ビル5階3F
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

2023年末手当交渉

支給月数2.95箇月で妥結！

～今後の更なる飛躍、発展をめざし「ONEチーム」で取組んでいこう～

JR東海ユニオンは「支給月数3・0箇月、支給日12月8日」とする要求を会社に入社し入れ、この間鋭意議論を積み重ねてきた。

日本の大動脈および地域公共交通という極めて重要なインフラの維持・発展と、名古屋地区の地域医療等を担うという使命を果たすため、組合員一人ひとりが懸命な努力を積み重ね、各職場で昼夜を問わず、鉄道運行や医療、サービス事業の最前線で社業・社会を支え、グループ一体となった関連事業の活性化や中央新幹線計画の推進等に取り組み、一丸となって使命を全うしてきた。

交渉では、上半期の好業績に繋げてきたこの間の組合員の努力に報いるよう、具体的な取り組みや成果、経営体力の再強化に資する取り組みなど、組合員が各職場の最前線で職務に精励してきた結果、利益を上げられる会社体質へと磨き上げてきた事実などについて強く主張した。また、「全職場総対話行

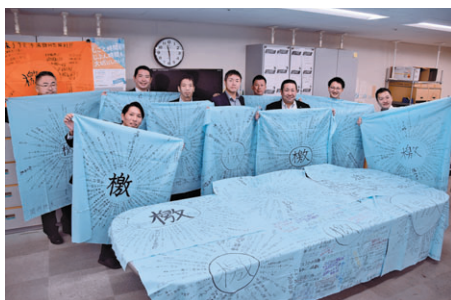
動」をはじめ、あらゆる機会に寄せられた組合員の想いや切迫感、業務にて取り組んできた様々な利益につながる創意工夫、改善、職責をも上回る判断等、込められた想いを一身に受け、組合員総がかりの交渉を展開した。

11月9日、会社から「支給月数2・95箇月、支給日12月8日以降準備でき次第」との回答が出された。この回答は、要求月数には届かないものの、2年間の赤字決算により経営への累積ダメージが残る中、安定的な黒字経営の根幹となるビジネス輸送も回復途上にある現状においても、組合員が業務に精励し、現業・非現業問わず、グループ会社と一体となり「ONEチーム」で自発的に業務を補完し合い、安全を損なうこ

となく低コスト化を積み重ね、体質強化してきたことを労使で確認し合い、会社が真摯に受け止め、組合員の頑張りにも報いるものと判断し妥結した。

世の中は引き続き変化の激しい時代であり、JR東海も大きな変革期を迎えている。JR東海ユニオン組合員は「ONEチーム」となり、「将来につながる共同宣言」の趣旨に則り「将来に亘る会社の発展と組合員、家族の幸せの実現」をめざし、グループと一体となつて安全・安定輸送および各種サービスの提供に尽力し、私たち自身の手で社業を支え、盛り立てていこう。

あらためて、撒布・撒色紙・撒FAX等にて力強く交渉を支えて頂いたすべての組合員、関係者に感謝申し上げます。



関西地本からの撒布



新幹線地本からの撒布・撒FAX